

南山だより



東京都港区元麻布3-8-15 TEL03(3403)5773 FAX03(3408)4532 MAIL:nanzan-es@minato-tky.ed.jp

ふれあい月間 ～心のバリアフリー～

副校長 安川 由美

秋も深まり、夕方になると南山の森から心地よい虫の音が聞こえてくるようになりました。外に出て自然から癒されることは人にとって大切であると感じています。

先日行われた南山体育発表会では、子供たちの活躍に温かい声援をいただきありがとうございました。練習を通して励まし合い、本番の成功を称え合い、喜びを共有する姿を見ると、子供たちの心の触れ合いを感じます。大きな行事は子供たちを大きく成長させることを実感しているところです。

さて、11月は「ふれあい月間」です。地域と共に「いじめ防止」について考え「いじめは絶対にしてはいけない」という気持ちが子供たちに育つよう学校でも取り組んでいく予定です。本校では、授業以外でも標語をつくるなど工夫しながら子供たちの心を耕していきます。

今までの経験から、「いじめ」が起きる背景の中に「人との違い」を受け止めきれないという事実があるように思います。そのことを考えた時、ある人との出会いが蘇ってきます。それは、冬季パラリンピック金メダリストであり、夏に開催されたパラリンピックの日本選手団副団長を務めたマセソン美季さんとの出会いです。担任をしていた当時、授業を通して本当のバリアフリーについて教えてくださいました。

マセソンさんが子供たちに伝えたことは

- ・目に見えるバリアフリーだけでなく、「心のバリアフリー」の大切さ
- ・工夫をすることで「心のバリアフリー」が実現すること

という大きく分けて2つのことです。

マセソンさんは「車いすの人とは一緒に遊べない。」「目が見えないから同じことはできない。」など、できないことに関心が向き、少し距離を置いてしまうことが「心のバリア」になっているというのです。東京で行われたパラリンピックでは、多様性、可能性、公平性など、共に生きていくために必要なことを学びました。その学びを身近な生活にも置き換えると、自分と少し性格が違うから、自分と少し好みが違うからと思って距離を置いたりせずに、気軽に声をかけたり、一緒に触れ合ったりすることが大切であるということです。

また、マセソンさんは2つの英語を比べて工夫の大切さを教えてくださいました。その2つの英語は“impossible (不可能)” “I’m possible. (私ならできる)”です。綴りは同じでも、ちょっとした視点の違いや工夫で「できない」が「できる」に変わります。マセソンさんはその工夫が心のバリアフリーにつながるというのです。

この「ふれあい月間」では、ちょっとした工夫さえすればみんなが楽しく毎日を過ごせるのではないかと考えながら、心のバリアフリーを目指していきます。

NANZAN2021（体育発表会）

体育発表会担当

コロナ禍の影響により、今年度も運動会の代わりとして、体育発表会を実施しました。密を避けるため、全学年がそろっての活動はできませんでしたが、他学年の練習を見学する時間やアドバイスなどをし合う時間を確保することによって、学年を越えて交流を進めてきました。また、2～6年生は、キャリアパスポートの中にある昨年度の体育発表会のめあてや振り返りシートを見て、今年度の目標を立てました。昨年度の悔しかった思いや上手くいった出来事などを思い出して書くことで、より具体的な目標を立てることができました。

本番では、1年生は初めての体育発表会を、笑顔いっぱい楽しく踊ることができました。2年生は腕を思いきり伸ばし、ソーラン節を大きく踊ることができました。3年生は旗を使い、みんなで揃えることを意識して表現することができました。4年生は素早いダンスの中でも、全体の動きを意識した息の合ったダンスをすることができました。5年生は扇を使い、力強く、一体感のある演技で観客を魅了しました。6年生はパフォーマンスで会場を盛り上げてくれました。

体育発表会に際して、保護者の皆様には多大なるご理解とご協力をいただきました。ありがとうございました。今回の取り組みや成果を今後の学校生活や行事にしっかり生かしていけるよう指導をしていきます。

たてわり班活動・異学年交流

特別活動部

南山小学校のよいところは？—たくさんありますが、卒業する児童が口をそろえて言うのは、「学年を越えて仲がいい」ということです。その一翼を担っているのがたてわり班活動です。

1年生から6年生まで14班のグループをつくり、一年間共に活動します。コロナ禍で以前のように思うような関わりをもつことができませんでした。それでも6月と9月のあいさつ運動では、久しぶりに班のメンバーが集まることができました。当番の朝はほとんどの児童が早く登校し、やる気満々です。下級生は6年生のあいさつやふるまいを、いろいろなことを学びます。

今後も異学年で活動する場を通して、上級生は下級生を思いやり、下級生は上級生のよいところを見て学び、お互いを思いやる心やコミュニケーションの力を育てていきます。そして「学年を越えて仲がいい」校風を引き継いでいきたいと考えています。



11月行事予定

1日（月）	委員会活動	17日（水）	避難訓練
8日（月）	学校公開（出席番号偶数）	20日（土）	145周年記念集会
9日（火）	学校公開（出席番号奇数）	24日（水）	クラブ活動
	学校説明会	29日（月）	委員会活動
16日（火）	ソフトボール投げ		

11月生活目標

正しいことばづかいをしよう <ふれあい月間>